

四季

P2 理事長挨拶

P3 赤岩病院からのお知らせ

P4 【トピックス】

光生会病院新任医師紹介

胸部X線画像が優秀画像に選出されました

P5 春のビジネスパーク2022に参加して

P6・7 【紙上クリニック】

嚥下内視鏡検査について

P8・9 【赤岩病院リハビリより】

人工股関節置換術、人工骨頭置換術の
脱臼肢位について

P10 【介護老人保健施設 赤岩荘】

～介護老人保健施設って何？～

P11 グループホーム
エバグリーン





医療法人光生会 理事長

市川 朝 洋

あけましておめでとうございます

医療法人光生会は、大正15年の開設以来、地域に根付いた医療・福祉サービスを目指し、長年取り組んでまいりました。地域の皆様ならびに関係機関の皆様には多大なるご支援ご協力賜り、本年も無事に新年を迎える事ができましたことを心より感謝申し上げます。

当法人は、地域に根付いた医療・福祉サービスの提供を目指し、長年取り組んでまいりました。安心・安全な医療を提供し、地域医療を支えるためには人材の確保、サービスの質の向上は必要不可欠であります。そのため、職員が働きやすい職場環境を整えるために、人事や職員相談窓口となる光生会本部棟を新築しました。

新型コロナウイルス感染症に対しては、ワクチン接種を進め感染拡大防止のための取り組みを行い、発熱外来診療において引き続き医療の提供に取り組んでまいります。

当法人は医療を必要としている方が安心して生活を送れるように支援すると共に、地域との連携も深めてまいりたいと考えております。患者様や利用者様に寄り添い尊厳ある態度で対応出来るよう職員一同、日々精進してまいります。

今後とも皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年 新春





赤岩病院からのお知らせ

赤岩病院では患者様に、快適な療養環境で過ごしていただけるように設備の改善に取り組んでおります。



1 ナースコールシステム更新

ナースコールは患者様とスタッフを結ぶ大切な機器です。令和4年11月に最新システムに更新しました。今回、映像見守りシステムを導入し、患者様の起き上がり、離床を検知することにより、転倒、転落を未然に防ぎ、患者様の安心につながります。



2 外壁・屋上防水改修工事

以前と比べて明るい色合いとなります。令和5年2月に完了予定です。



屋上防水改修前



屋上防水改修後



光生会病院 内科
安藤 貴文 先生

令和4年9月から光生会病院で勤務しております。光生会病院は多職種の連携がよく、大変働きやすい環境で皆様に感謝しております。

微力ではありますが、皆様とともに少しでも地域医療に貢献していきたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

★新任医師紹介★

New Doctor Introduction

【略歴】

昭和58年 自治医科大学卒業
昭和58年 名古屋第一赤十字病院
昭和60年 国保東栄病院
昭和63年 名古屋第一赤十字病院
平成 2年 新城市民病院
平成 5年 名古屋大学医学部附属病院
平成 9年 米国バンダービルト大学
平成12年 米国ニューヨーク大学
平成13年 名古屋大学医学部附属病院
平成21年 名古屋大学大学院医学系研究科
消化器内科学准教授
平成27年 公立西知多総合病院 副院長
平成31年 医療法人十喜会 加藤病院
令和 4年 医療法人光生会 光生会病院

【所属学会・認定等】

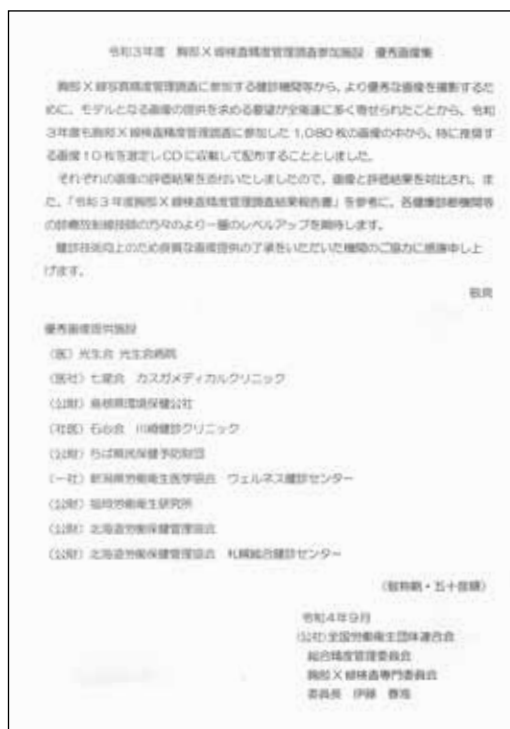
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器学会専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
日本消化器がん検診学会総合認定医
日本消化器病学会指導医
日本消化器病学会評議員
日本消化器病学会支部評議員
日本消化器内視鏡学会支部評議員
日本消化器内視鏡学会支部評議員
日本医師会認定産業医
愛知県難病指定医



胸部X線画像が優秀画像に選出されました

「胸部X線写真精度管理調査」は、胸部レントゲン検査の撮影技術・画像処理・評価技術及び精度管理の実施状況について評価し、必要な指導を行うことで信頼性の高い優良な健診施設を育成することを目的に実施されている調査です。

光生会病院では2013年から続けて、最高評価の「A」判定を取得しています。そしてこの度、令和3年度に提出した胸部X線画像が、全国の参加施設の中から優秀画像として採用されました。今後も受診者様に高精度の検査を提供するため、技師一同全力で努力いたします。



春のビジネスパーク2022 に参加して

光生会病院 放射線技術科
診療放射線技師 山本 舞

ビジネスパークとは？

ビジネスパークは2008年、豊橋市の子ども関連施設である、こども未来館「ここにこ」の開館をきっかけに「地域の子どものためになることを」という想いからスタートしました。民間企業や行政などで働く社会人が、中学校や高校、専門学校などに出向き、働くことの意義や職業選択などを子どもたちに伝えることで、「具体的な職業観を養ってもらう」や「将来の職業を考える機会を与えること」により地域への愛着や地元就職への意識を形成しようという事業です。今では、豊橋市のキャリア教育の1つとして、重点的に取り組まれています。

同時に、企業の方にとっては、普段お客様ではない中学生や高校生に「わかりやすく伝えるプレゼンテーション能力の向上」や「自身の仕事を見つめ直すきっかけ」など研鑽の場としても活用されています。

ビジネスパークではどんな授業をするの？

地域で働く皆さん(大人)が、職業の内容や地域における職業の役割、働くことの意義などを中高生に伝えます。

授業を通じて、若者が将来を考えるきっかけを作り、夢の実現に貢献することで、未来の地域活性につなげることを目指しています。

豊橋商工会議所HP引用(<https://www.toyohashi-cci.or.jp/person/bizpark.php>)

- 1 今のお仕事を選んだ理由
- 2 どんなお仕事をしているのか？
- 3 社会でどんな役割を担っているのか？
- 4 お仕事でやりがいを感じるころ
- 5 働くことの喜び

こんな授業を行ってきました

コロナ禍で職業体験に行くことができていない状況とのことであったため、よりリアリティのある授業を行いたいと考えました。そこで、スタッフに協力してもらい、模擬検査を行っているところを動画にし、解説しながら授業を行いました。また、レントゲンやCT、MRIなどの多くの画像を提示することで、仕事への理解を深めるとともに、興味を持ってもらえるような授業を心がけました。さらに対面形式で授業を行えたことで、皆さんが理解してくれているのか、難しく感じているか表情を確認したり、質問したりしながら、授業を進めることが出来ました。



ビジネスパークに参加してみた

診療放射線技師という仕事は、医療職の中でも、医師、看護師ほど、認知度は高くなく、どのような仕事かわからない方も多いと思いますが、画像検査の分野は診断する上で、なくてはならない分野です。まだまだ将来の選択肢が幅広い中学生に少しでも将来を考えるきっかけになればと思い参加させていただきました。

実際に授業を行ってみると、最初は緊張しましたが、真剣に話を聞いている皆さんの表情や、授業中の反応がとても良く、楽しく授業を行うことが出来ました。

授業が終わった後も、質問をしてくれた子もいたため、少しでもこの職業に興味を持ってくれたことを嬉しく感じました。

後日、授業を受けてくれた皆さんから感想もいただき、動画が分かりやすかったなどの声を聞くことが出来て、準備は大変でしたが改めて今回のビジネスパークに参加してよかったと思いました。

今回このような貴重な経験をさせていただいたことで、診療放射線技師の医療分野での役割を考えるきっかけとなり、これからも患者様の力になれる技師を目指し続けていきたいと思っています。

嚥下

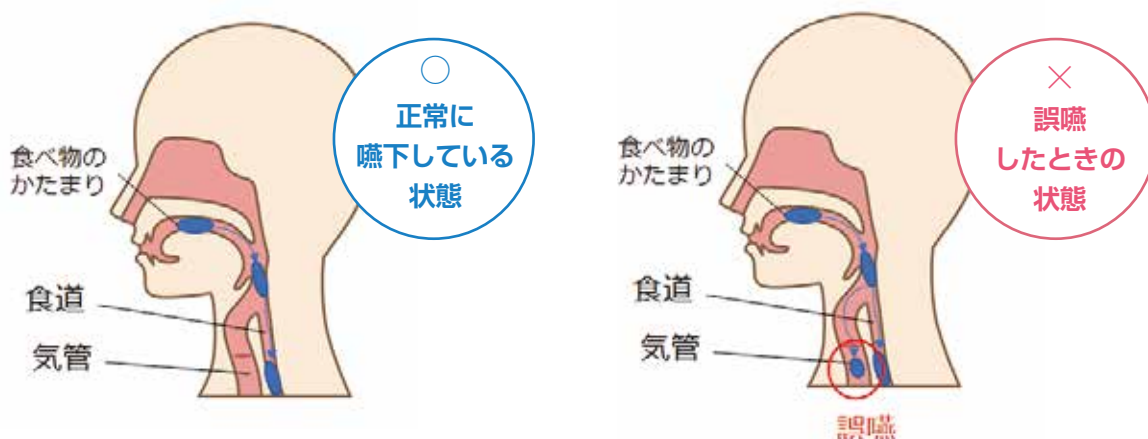
内視鏡検査について

医療法人光生会 赤岩病院
内科 平井 和哉

今回は嚥下内視鏡検査についてお話させていただきます。

嚥下内視鏡検査とは、鼻から細いファイバースコープを挿入し喉の観察を行う検査です。

実際に水分や食物を飲み込んでいただくことで、食物が気管に入っていないか、喉に残っていないかなども観察することができます。嚥下機能(飲み込む力)が低下している方に行うことで、現在の食事内容が適切であるのか、食事摂取が可能であるのかなどを判断する所見の一つとなります。



嚥下機能について

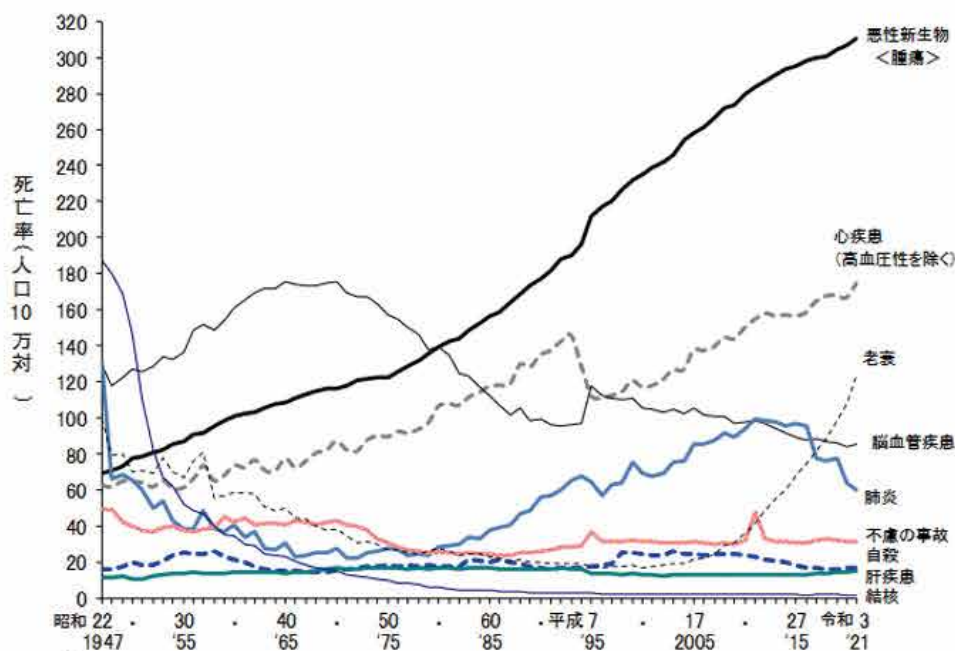
嚥下機能が低下する主な原因としては、脳血管障害(脳梗塞や脳出血)による麻痺、神経・筋疾患、加齢による筋力低下などがあります。特に近年、我が国は超高齢化社会といわれるように御高齢の方の人口比率が高くなってきています。それに伴い持病を抱えながら生活される方が多くなっており、病気による後遺症・合併症によって様々な機能障害が起きた結果、生活の質(QOL)が低下することが問題となってきています。また持病がなくても加齢による筋力の低下(サルコペニア)や身体機能・社会性・精神機能などの低下(フレイル)により、同じくQOLが低下することがあります。

嚥下機能と肺炎について

令和3年人口動態統計による死因別にみた死亡率の推移(図1)では、1位:悪性新生物 2位:心疾患 3位:老衰 4位:脳血管疾患 5位:肺炎となっています。5位の肺炎に関しては、2000年初頭からしばらくは脳血管疾患を抜き3位となっていました。肺炎で亡くなる方の約7割が75歳以上の方であり、その7割以上が誤嚥性肺炎であるといわれています。ここ数年は老衰の増加とともに急激に減少傾向を示していますが、これは肺炎が減少したわけではなく嚥下機能が低下した方が肺炎を繰り返すことで衰弱された結果、その一部が老衰として診断されていると考えられます。

嚥下機能が低下し食事摂取が困難と判断された場合は、人工的水分・栄養補給法を検討する必要があります。具体的には経腸栄養法(胃瘻や経鼻胃管など)や非経腸栄養法(中心静脈栄養や末梢静脈栄養など)があり、その導入に関しては御本人・御家族の希望を伺いながら決定していきます。しかしこれらの栄養法は本人から食べる楽しみなどをなくすことになるため、その判断は慎重にしなければなりません。そのような状況で嚥下機能の評価・食事摂取が可能かどうかの判断をすることに役立つのが嚥下内視鏡検査となります。

図 1



嚥下内視鏡検査の手順

- 1 患者様に座っていただき鼻の麻酔をおこないます。
- 2 ファイバースコープを鼻から挿入し喉が見える位置まで進めます。
- 3 声掛けをして声を出していただいたり、唾を飲み込んでいただきます。
- 4 ゼリーや水を口の中へ入れ、合図をしたときに飲み込んでいただきます。

検査自体はファイバースコープ挿入から終了まで約5分ほどで終了いたします。



ファイバースコープ



ファイバースコープの先端

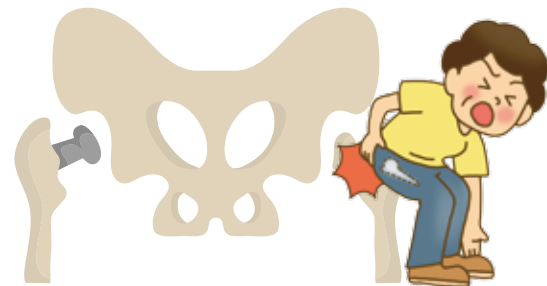


食道へ向かう空間



声門(気道へ向かう)

※患者様の認知機能や嚥下状態によっては検査の中止や食物検査が行えない可能性があります。また実際に食物を使用するため、検査を行うことで誤嚥などを惹起する可能性もあります。詳細につきましては検査担当医より説明させていただきますので御気軽に御相談ください。



人工股関節置換術、人工骨頭置換術の脱臼肢位について

変形性股関節症で人工股関節置換術(THA)を受けたり、転倒により大腿骨頸部骨折になり人工骨頭置換術(BHA)を受けると、術後早期より荷重が可能になり活動できる利点がありますが、合併症に気をつける必要があります。深部静脈血栓症や感染症がありますが、中でも怖いのは脱臼です。

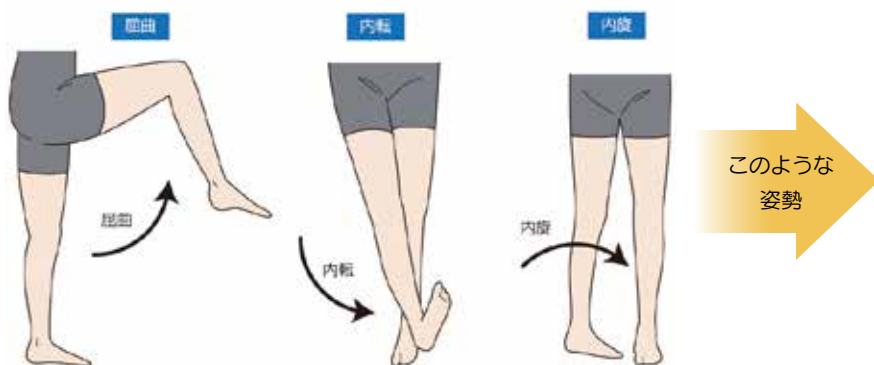


股関節は脱臼しにくい構造になっていますが、手術による切開により、股関節の関節包や靱帯、筋肉が持っている機能が低下します。手術の方法により異なり、後方アプローチでは2%程度、前方アプローチでは1%未満の確立で起こると言われています。

術後の股関節脱臼は禁忌肢位と呼ばれる「とってはいけない姿勢」をとることで起こります。禁忌肢位は日常のあらゆる場面に潜んでおり注意が必要です。赤岩病院では禁忌肢位を取らないように指導を行っています。どんな場面で注意が必要か後方アプローチ、前方アプローチと分けてご紹介します。

後方アプローチ

お尻のほうから手術をします。後方アプローチで手術される方が多いです。股関節**屈曲+内転+内旋**が禁忌肢位となります。



■ 実際の場面(左足が患側)

【靴を履く】



【靴下を履く】



靴や靴下を履くときは膝が内側に入りやすく、また股関節が屈曲しやすいため注意が必要です。

【起き上がる、横になる】



ベッドからの起き上がりや横になる時は患側が下にならないようにしましょう。

【正座、とんび座り】



床やベッド上に座るときは足を伸ばした状態で座るようにしましょう。



【しゃがみ込み、床の物を拾う】



患側が曲がりすぎないように注意が必要です。お風呂に入る時も同様の姿勢になりやすいです。



【立ち上がり】



立ち上がる時は膝が内側に入らないようにしましょう。

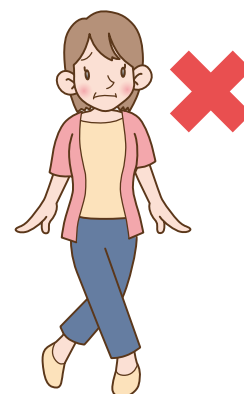


前方アプローチ

股関節伸展+内転+外旋が禁忌肢位となります。

後方アプローチと違い日常的にこの姿勢になることはあまりないです。

ボーリングで球を投げた後の姿勢に近いです。



今回挙げた動作はほんの一部で、実際の生活場面では様々な動作があります。前方アプローチより脱臼しやすい後方アプローチの場合、股関節を深く曲げた姿勢で膝が内側に入ってくるのが危ない姿勢となります。そこに気をつければよほどのことがない限り脱臼することはないです。人により関節可動域も違うため、各々にあった動作指導、自助具の選定を療法士と行っています。

～介護老人保健施設って何？～

介護老人保健施設(以下：老健)とは？

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、自宅への復帰を目指すために、医師による医学的管理のもと、看護・介護といったケアはもとより、理学療法士、作業療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。利用者個人の状態や目標に合わせたサービスを、医師をはじめとする専門スタッフがを行い、夜間でも安心できる体制を整えている。また、高齢者(利用者)が住み慣れた地域で長く生活できるように地域社会全体で支えていくための基盤の一部となっています。

どんな人が利用できるの？

老健へ入所できる利用者は介護保険法による被保険者で要介護認定を受けた方のうち、病状が安定していて入院治療が必要ない要介護1～5の方でリハビリテーションが必要な方が対象となります。



病院にてリハビリテーションを実施していたが、まだ在宅生活に不安がある

介護老人保健施設にてリハビリテーションを実施

自宅復帰

自宅での生活中に身体機能低下・在宅生活困難

自宅での在宅系サービスを利用しての在宅生活の継続

※必ずしも上記のようなではないが、老健の役割の一例。

赤岩荘では通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、ロング入所、短期療養介護(ショートステイ)の機能があります。住み慣れた地域で長く生活出来るように、リハビリテーションを含め日常生活が少しでも自立して生活出来るように支援できる環境を整えています。必ずしも在宅復帰が出来るわけではありませんが、利用者が自己にて行える動作を増やせるようなお手伝いを行っています。



多種多様なレクを実施し、利用者が楽しく生活できるようにしています。

2022年 施設内行事

- ・小さな秋祭り
- ・おやつバイキング
- ・運動会
- ・音楽療法 等々…



グループホーム エバグリーン

遠足に行く、外食に出かける、買い物、家族が会いに来る... 今までは当たり前だった日常が制限されることが今では逆に“当たり前”になってしまった新型コロナウイルス感染予防対策との共存の生活。今では、動物のDVDを見たり、テイクアウトでお寿司、職員がお使いに行ったり家族が差し入れ、リモート面会やアクリル板越しの面会、とちょっとした工夫と周りの環境の進化を取り入れながらワクチン接種をすすめ、マスク着用を徹底し感染対策の手は緩めないといったグループホームの日々ではあります。

そういった利用者様の日常を写真に収め記事にし発行している広報誌のご紹介です

エバグリーンでも一枚紙の物ではありますが【エバ通信】という広報誌を作成しております。2002年の施設開設後しばらくしてから発行が開始され、当初は白黒印刷でしたがデジタルカメラの普及とともに掲載される写真が増え、コピー機の進化とともにフルカラー化し20年間ほぼ毎月発行され間もなく220号を越えます。発行されたエバ通信は、利用者様家族・地域（現在は多米地区のみ）・運営推進委員会などに配られております。内容は、行われた季節イベントの紹介をメインに地域の行事に参加したり日常の中の利用者様の表情を切り取った記事など様々です。

作成は広報委員会によって、デジタルカメラに保存されている写真を選別し記事を作成しA3サイズのカラー印刷一枚の広報誌を印刷する作業が行われてます。



新型コロナウイルス流行後は、なかなか会えない利用者様の姿をご家族様にお届けすることが目的の一つとして大きな意味を持つようになった広報誌であります。出来る限り多くの利用者様を載せようとすれば写真の枚数が増え一つ一つが小さく見難くなってしまうジレンマを抱えています。そのため現在では、別紙として、その利用者様だけを載せた紙面を一枚作成しエバ通信本誌と一緒に同封しご家族にお届けするようにしております。

施設見学や入所に関するご相談等あればエバグリーンまでご連絡ください！

エバグリーン TEL **0532-62-4434**



みなさまの輝くいのち、守ります。

年に1度は健診を

～いつもと変わらない

何気ない日常が1日でも長く続くように。～

健診に関するご質問・お問合せは

総合健診センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137 フリーダイヤル.(0120)-613-266

TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962 メールアドレス kenshin@kouseikai-hp.or.jp

消化器疾患の早期発見・

早期治療を ～豊富な実績に基づく確実な検査～

消化器内視鏡検査に関するご質問・お問合せは

消化器内視鏡センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137

TEL.(0532)61-3166代表 FAX(0532) 69-3635



光生会病院 TEL.(0532)61-3166

総合健診センター TEL.(0120)613-266

消化器内視鏡センター TEL.(0532)61-3166代表

地域医療連携室 TEL.(0532)61-3213



赤岩病院 TEL.(0532)62-2105

医療病棟

介護医療院

回復期リハビリテーション病棟



介護老人保健施設 赤岩荘

TEL.(0532)66-1123

グループホーム エバグリーン

TEL.(0532)62-4434

交通の
ご案内

